

ウィードコア™ジャンボSD

■種類名：フロルピラウキシフェンベンジル・ペノキスラム・ベンゾピシクロン粒剤
■有効成分：フロルピラウキシフェンベンジル ----- 2.0%
ペノキスラム ----- 2.5%
ベンゾピシクロン ----- 10.0%
■化管法指定物質：ベンゾピシクロン [第1種] ----- 10.0%
TM コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標

■登録番号：第24701号(コルテバ・ジャパン登録)
■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
■登録初年：2023.01.11
■性状：類白色細粒、水溶性パック入り
1パック20g
■有効年限：3年
■包装：200g(20g×10パック)×20袋

【特長】

- ノビエをはじめとする一年生雑草、多年生雑草に高い効果を示し、幅広い雑草の防除に有効。
- 新規有効成分フロルピラウキシフェンベンジル(通称：リンズコア)を含有し、既存剤に抵抗性を示す雑草にも有効。
- 処理適期幅が広く、4葉期までのノビエや生育の進んだ広葉雑草にも高い効果を示します。
- 10aあたり200g(パック10個)を水田に投げ入れるだけの簡単散布で省力的。

【適用内容】(2023年10月末日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 ホタルイ マツバイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	移植後10日～ノビエ4葉期 ただし、収穫60日前まで	小包装(パック) 10個 (200g) / 10a	2回以内	水田に小包装(パック) のまま投げ入れる

フロルピラウキシフェンベンジルを含む 農薬の総使用回数	ペノキスラムを含む 農薬の総使用回数	ベンゾピシクロンを含む 農薬の総使用回数
3回以内	2回以内	3回以内

【効果・葉害等の注意】

- 小包装(パック)に使用しているフィルムは水溶性のため、ぬれた手や汗ばんだ手で作業したり、降雨等で破袋しないように注意すること。
- 本剤は水溶性フィルムで小包装した製剤をそのまま、10アール当たり10個の割合で水田に均等に投げ入れること。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイは4葉期まで。マツバイは発生期まで。ミズガヤツリは草丈25cmまで。ウリカワは3葉期まで。ヒルムシロは発生盛期まで。セリは再生期まで。
- 雑草の発生状況をよく確認し、ノビエの4葉期までに時期を失ないように散布すること。
- 苗の植付けが均一となるように代かきをていねいに行い、ワラくずなどの浮遊物はできるだけ取り除くこと。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行うこと。
- 散布に当たっては、水深5～6cmの湛水状態で散布すること。水の出入りを止めて、少なくとも3～5日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、田面を露出させないように注意すること。散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。また、止水期間中の入水は静かに行うこと。
- 藻や浮草が多発している水田では拡散が不十分となり効果の劣る可能性があるので使用をさけること。
- 散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用をさけること。
- 下記のような条件では葉害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
 - ◆ 砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)
 - ◆ 軟弱な苗を移植した水田
 - ◆ 極端な浅植の水田および浮き苗の多い水田
 - ◆ 稲の根が露出している水田
- 本剤の使用後に低温が続くと予想される場合には、稲に生育抑制などの葉害が発生するおそれがあるので、使用をさけること。
- 処理後数日間著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていない。

- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意すること。いぐさ栽培予定水田では使用しないこと。
- 葉害を生じるおそれがあるので、周辺作物にかからないよう十分注意すること。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないこと。
- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきる。空袋等はほ場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は水溶性フィルムで小包装化されているため、通常的使用方法ではその該当がない。ただし、濡れた手で触らないこと。
- ❖ 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意すること。
 - ① 眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けること。
 - ② かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。吸湿性があるので湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を堅く閉じて保管すること。また、強く加圧されると包装材フィルムが劣化するおそれがあるので下積みにならないようにすること。